海洋環境保全学習
（千葉県鴨川市）

■海岸清掃　　鴨川市前原海岸にて

ゴミ拾い終了後、「さかなクン」と一緒に記念撮影

地元小学校の子供たちを交え、2つのグループに分かれてゴミ拾いをしました。短時間でたくさんのゴミが拾えました。海を見たことのない国の子供たちは、海岸に落ちている貝殻などの海からの贈り物に感動していました。

共催の「ウミガメ倶楽部」より「地球こどもクラブ」の子供たちへプレゼント（扇子）を頂きました。

「ウミガメ倶楽部」の椎野会長からは、『本日のゴミ拾いにより、海岸へ産卵に上がってくウミガメも大変喜んでいるのでは？このような一人一人の行動や経験を一人が10人に話したら、さらに大きな輪につながっていけるのです。海岸のみならず、我々の環境をよりよくするためにみんなで頑張っていきましょう！』というお言葉を頂きました。

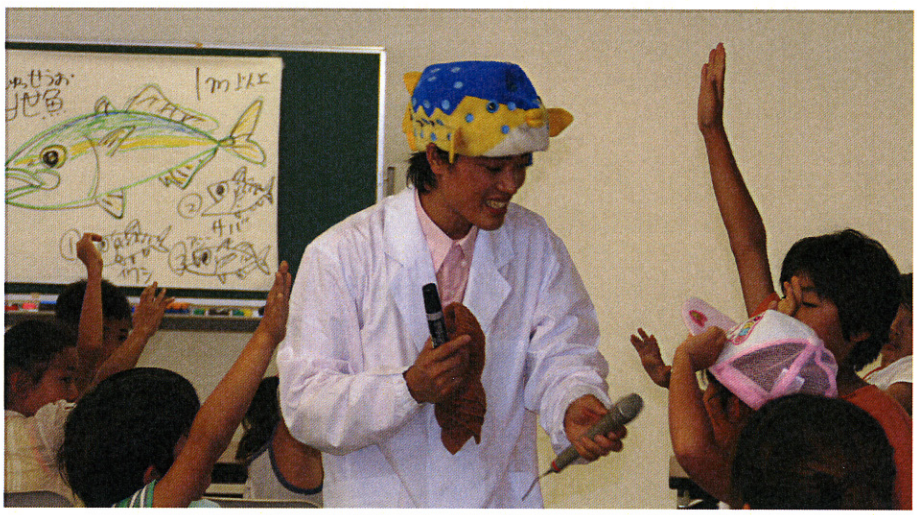
◆日　　時　：　2007年7月25日（水）
◆共　　催　：　地球こどもクラブ、ウミガメ倶楽部
◆参 加 者　：　〈地球こどもクラブ〉

国内入賞者	12名	海外入賞者	16名
海外引率者	10名	通訳者	8名
			他 9名

〈ウミガメ倶楽部〉
鴨川小学校・東条小学校・江見小学校の子供たち 約50名

■さかなクン講演会　　鴨川市民会館にて

「学校では教えてくれない海のこと、魚のこと、環境のこと」



「さかなクン」とクイズに答えたい子供たち

子供たちに絶大な人気のおさかな博士、「さかなクン」を講師に招きました。

誠実な人柄で、瞬時に描くイラストや分かりやすいお話しに子供たちは終始、目を輝かせていました。

以下、「さかなクン」の話（要旨）

ゴミには、自然に還るもの（木・貝殻・海草など）と還らないもの（カン・発泡スチロール・プラスチックなど）があります。海草や貝殻などを海に還しても大丈夫なのは、海にはバクテリアがたくさん暮らしています。このバクテリアが海の中で害のないものに変えてくれるからです。

海に捨てられたゴミを食べてしまった大きな魚やウミガメなどは、死んでしまうこともあります。こういう大きな魚たちがいなくなってしまうと海の中の生態系がくずれてしまいます。

海をきれいに保つには山や森、林といった陸上の自然も大切にしなければいけません。海には陸上の栄養がたくさん流れ込んでくるからです。山や森、陸上が汚れていると川が汚れ、海も汚れてしまうのです。実は、海も山も川も全部つながっているということを知ってもらいたかったのです。

海にいる魚をイラストで紹介していきます。魚の名前が分かった方は元気よく手を挙げてくださいね。これは「アジ」です。「アジ」の背中は何色でしょう？海面の色と同じ青色です。「かもめ」などの空から狙う天敵に分かりずらくさせるためです。お腹は何色でしょう？黄色です。大きな魚が海の下から「アジ」を見た時にお日様の色と間違えて、気付かないようにするためです。

以下、10匹の魚のイラストを描き、それぞれどんな魚か？子供たちに当てさせ、描いた魚の特徴などの話に加え、クイズに当たった子供にイラスト（サイン入り）をプレゼントしてくれました。

◆日　　時　：　2007年7月25日（水）

◆共　　催　：　地球こどもクラブ、ウミガメ倶楽部

◆参 加 者　：　〈地球こどもクラブ〉

国内入賞者	12名	海外入賞者	16名
海外引率者	10名	通訳者	8名
			他 9名

〈ウミガメ倶楽部〉

鴨川小学校・東条小学校・江見小学校の子供たち 約50名

■鴨川シーワールド　視察

ダイナミックなシャチのショーをはじめ、ペンギンやアザラシなど、見たことのない海の動物たちを実際に見ることができて、海外の子供たちは特に感激していました。

見えない海の中では、こんなにたくさんの種類の魚や動物たちが生活をしています。これらの命や生活を守るために、子供たちは日々環境についてもっともっと深く考えてくれることでしょう。

◆日　　時　：　2007年7月25日（水）

◆参 加 者　：　〈地球こどもクラブ〉

国内入賞者	12名	海外入賞者	16名
海外引率者	10名	通訳者	8名
			他 10名